

地域活動備品貸出制度について



永山 伸一

質問 環境美化活動や道路・河川維持管理活動、また、資源回収活動など市民との共生・協働により、各地区コミュニティ協議会や自治会などで実施されている地域活動で必要となる車両や草刈機・芝刈機・脚立などの備品を市役所から貸し出す制度を新たに設けられないか。

答弁 備品は、自治会や、PTAなどから要望があれば、貸し出しを行ってきたが、車両については、現在、貸出しはしていない。地域振興のために、自分たちで活動することで、地域の活性化につながるものであれば、目的を明確にして貸出しをする体制にすべきと考える。ただし、管理や事故の問題などがあり、それらを調査した上で、規則等の整備をして、特に自治会、NPO法人等の団体であれば貸してよいのではないかと考える。九月に予算措置できるものを含めて、十月一日から貸し出しができるよう努力したい。

原発の耐震設計について



井上 勝博

質問 地震学者によると、たとえ活断層が発見されなくてもマグニチュード七以上の地震は日本のどこでも起こりうるといえます。ところが川内原発は、M七の直下型地震に耐える構造にはなっていない。国の基準をクリアしていません。国は十分であり、最悪の事態を考へての耐震設計の見直しを九電に申し入れるべきではないか。

答弁 耐震安全性については、昨年十二月に新耐震指針に基づく耐震安全性評価結果が国に提出されている。その中で震源を特定しない地震についても考慮されており、現在、その妥当性についても国で審査されている。したがって、現段階において九州電力に対し再調査を求める考えはない。

環境月間に関して



杉菌 道朗

質問 近年、日本各地で海岸への漂着ごみが増加し、大きな社会問題となっている。唐浜、西方の海水浴場や、甌島など海岸線と広く接している当市の漂着ごみの現状はどうか。また、その処理について県当局との連携、地域のボランティアグループとの協力体制などはないのか。

答弁 危険な薬品等の入ったポリタンクについては、本市が回収して内容物を確認した後に適正に処分を行っている。その他の漂着ごみの回収についてはほとんどがボランティアの方々で頻繁に巡回して回収されたり、地域によっては、中学生ボランティアや自治会等市民の皆さんの協力を得ている。また、里地域では、自治会や女性団体等が月に一回海岸清掃を行っている。災害時の大量漂着ごみの場合は、国の補助等もあるので、県と本市が協議して迅速に対応していきたい。

交通渋滞の改善策について



大坪 幹也

質問 ①平佐中央交差点の市道横馬場・田崎線では、朝夕、交通渋滞が起こっている。川内駅周辺地区土地区画整理事業の完成も迫り、更なる渋滞もあるが改善策を示されたい。②県道四十二号川内加治木線は朝夕、交通渋滞が起こっている。近隣の田崎地区と永利・天辰線の樋脇・市比野方面に行く車両をバイパス方式で通過させることはできないか、改善策を示されたい。

答弁 指摘の交差点は、変形的交差点となっており、渋滞緩和方法として、右折レーンの設置や信号機の時間差処理等が考えられる。交通量等の調査、道路診断を行い、関係者の意見を聴きながら、改善に向け協議していきたい。また、県道四十二号川内加治木線は、渋滞緩和に向けた整備が進められ、以前と比べるとスムーズに流れるようになった。今後は信号機設置による改善や混雑区間を避けた交通の分散化の検討が必要で